

生産方式革新実施計画の概要【株式会社 和農日向】

2026年
7月23日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

株式会社 和農日向（山形県酒田市）

経営概況（2026年7月時点）

経営規模：水稲52ha、ソバ8ha、野菜19a

従業員数：7名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



和農日向の皆様



栽培管理システム（KSAS）

～認定を受けて一言～

雄大な鳥海山に抱かれて、その裾野をひく中山間地で日々農業を楽しみながら営農に励んでいます。「地域の農業は私たちが守る！」という強い思いを胸にスマート農業機械を活用しながら、次の世代へ誇れる農業を繋いでいきます。